

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	都市計画道路変更事務			事業コード	0712
担当課等	所属名	建設部 交通政策課		担当係名	
	課長名	建設部 交通政策課	担当者名	南幅純一	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	都市活動を支える交通環境の構築	コード 8
	基本事業	総合交通体系の確立	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 8款 4項 5目 盛岡広域都市計画道路変更 事務(001-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和13年度～)		
事務事業の概要	都市の骨格形成や円滑な交通を確保する都市計画道路網の確立を図るため、将来道路網計画に基づき都市計画道路の決定及び変更を行う。 ・都市計画道路の変更案の作成 ・住民懇談会の開催 ・関係機関との協議の実施 ・都市計画道路の変更手続き					
根拠法令等	都市計画法第19条、第21条等					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和13年の都市計画決定以来、時代の変遷にあわせその都度見直しを行い整備を行ってきた。昭和61年には盛岡広域都市圏総合都市交通体系調査において2環状6放射を基本とする将来道路網計画を策定した。以降この計画に基づき、都市の骨格形成や円滑な交通を確保する道路網を構築するため、都市計画道路の見直しを進めてきている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
昭和63年の盛岡市都市計画審議会において、将来道路網計画に基づく都市計画道路の見直しを行うことのできることを了承を得ており、盛岡市議会、盛岡市町内会連合会へ将来道路網計画の概要を説明している。また、平成13年度から平成15年度にかけて、関係する町内会等と懇談会を開催し、道路網の必要性については概ねの理解を得ているが、具体的な路線計画については賛成・反対・計画見直し等の意見が出されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したが。今後の見通しはどうか						
将来道路網計画の策定から20年以上が経過し社会情勢等が変化しており、近年は行財政構造改革により都市計画道路整備等の公共事業費が大幅に減少している。このことから、既存の将来道路網計画を基本としながら、今後見直しが必要な中心市街地を主体に交通関係の調査を実施し、将来道路網計画の検証を行うとともに、道路の整備量等を考慮しながら、概ね30年程度で実現可能な新しい将来道路網計画を平成21年10月に策定している。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	都市計画道路網の計画	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 将来道路網計画の総延長	単位	km
				B. 廃止対象路線の総延長	単位	km
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 都市計画道路の都市計画変更に向けて、住民説明会や関係機関との協議を進めた。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  都市計画道路の都市計画変更に向けて、住民説明会や関係機関との協議を行うとともに、法定手続き(縦覧、同意協議等)を実施する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 関係機関協議の回数	単位	回
				B. 住民懇談会等の回数	単位	回
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	都市の健全な形成に資するとともに、安全で円滑な都市交通の確保を図ることの出来る都市計画道路網を確立する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 計画変更済み延長 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	km
				B. 計画変更率(計画済み延長/将来道路網計画の総延長) 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				C. 廃止済み延長 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	km
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	総合的な交通体系が確立され、快適に移動できる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市民アンケート調査「快適に移動できる」と思う市民の割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	将来道路網計画の総延長	km	262.75	251.17	251.17	251.17	251.17	251.17	26年度 251.17
対象 指標B	廃止対象路線の総延長	km	0	20.36	20.36	20.36	20.36	20.36	26年度 20.36
対象 指標C									年度
活動 指標A	関係機関協議の回数	回	13	25	15	12	20	20	年度
活動 指標B	住民懇談会等の回数	回	6	15	20	6	20	20	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	計画変更済み延長	km	237.42	241.11	241.11	241.11	241.11	241.11	26年度 241.11
成果 指標B	計画変更率(計画済み延長/将来道路網計画の総延長)	%	90.4	96	96	96	96	96	26年度 96
成果 指標C	廃止済み延長	km	0	6.22	6.22	6.22	6.22	18.61	26年度 20.36

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	850	841	556	854	979	979	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	850	841	556	854	979	979	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	850	841	556	854	979	979	*****
	延べ業務時間数	時間	3,000	3,600	7,200	5,600	7,200	7,200	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	12,000	14,400	28,800	22,400	28,800	28,800	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	12,850	15,241	29,356	23,254	29,779	29,779	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 十分な住民理解と協力を得ることにより、より効果的・効率的な都市計画変更事務が可能となり、事業の円滑かつ迅速な推進が図られる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 廃止・休止を行った場合、必要に応じた都市計画道路の変更ができなくなり、都市の骨格形成や円滑な交通を確保する都市計画道路網の確立が困難になる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 国道、県道及び4車線道路の都市計画決定(変更)は県が定める。 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 都市計画を定める者が法律で規定されている。ただし、国・県等との連携を図ることにより円滑な都市計画変更を行う。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 必要最小限の事務費である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 住民の合意形成が効果的・効率的に図られるような懇談会開催や意見集約に努める。また、修正に多くの時間を要している計画図について、デジタル化を進める。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  都市計画道路の見直し(変更)においては、地域単位での必要性は許容しつつ、個人の立場での合意が得られないため、地域住民の総意としての合意形成に多くの時間を費やしている。このことから、従来の地域毎の懇談会(説明会)による合意形成に加え、情報紙の発行による情報共有やパブリックコメントによる市民全体の意見集約等を図る必要がある。                  また、今後の継続的な見直し事務を軽減するため、計画図のデジタル化を進める。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか?                  (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む)                  見直しの変更決定までに時間を要することから、それまでの間、見直し予定について市民に周知する必要がある。また、説明会に出席できない不在地主や間接的に関係する市民もあり、こうした方々への対応も含め、情報発信・提供の手法を検討する。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>22年度は、変更の方向性の一つとなる都市計画道路整備プログラムを策定した。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>実質的な市民への説明は、今年度からのスタートであり、22年度の取り組みに基づき適切な情報発信と理解が得られるよう取り組む。</p>							